

「令和4年 新年のご挨拶」

崎浦地区町会連合会会長 上森 弘

新年あけましておめでとうございます



新しい年、ご家族お揃いでお健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

新型コロナウイルスの猛威の中で明けた昨年、安心、安全が当たり前と思って平穩に過ごしている者にとって大きな刺激でありました。

地区内における各種行事や会合と言った顔を合わせる機会もままならず、皆様に我慢をいただく日々でした。規制が緩和され日常生活が戻りつつあり安堵していましたが「オミクロン株」なる新たなウィルスの出現によってコロナ禍の収束は全く分からない状況になりました。

こうしたコロナ禍の中ですが、新年度にかねてから金沢大学工学部跡地（平成17年3月角間地内に移転）において建設中の新石川県立図書館がオープンする運びとなっていることは大変喜ばしい限りであり、令和5年度には金沢市立美術工芸大学の移転予定の工事も順調に進んでいるのであります。さらに、田上方面へのアクセス道路については図書館完成とともに構内が開通し既存道路への一日も早い接続が望まれています。また上野八幡神社横の隅切りと交通対策にも配慮されており、周辺の交通環境も大きく変化するものと思われま。

地区としても大きな関心事であり、工学部移転が本格化する平成15年9月跡地利用について町民からアンケート募集を実施し、17年の移転後の18年にはこれらに対応するため「プロジェクトチーム」を組織して、県・市への要望等積極的に活動してきたところであり、約20年ぶりに伝統と歴史ある工学部跡地に再び図書館、美術工芸大学として新たな灯がともることは文教地区として非常に意義深いことであり、県・市ならびにご労苦をいただいた先人たちに改めて感謝申し上げる次第です。

これらが完成し環境整備が整えば崎浦地区に新しい歴史が始まるものと確信しています。同時にこのことが地区にどのような変化をもたらすのか、その変化にどう対応していけるか大きな課題だと思っているのでもあります。

完成まじかの図書館、美大の大きな建物を見上げるたびに、新しい時代に引き継がれていく地区の将来に大きな希望を持つものであり、県・市ご当局のさらなるご配慮をお願いするものであります。

崎浦地区が新しい環境に変わるこの機にさらに充実発展するよう、本年も皆様のご協力を切にお願いするとともにご健勝にてお過ごし下さいますようご祈念申し上げ新年のご挨拶といたします。

